

第2章 地域の概況

第1節 大津市の特性

1. 地勢

本市は、滋賀県庁の所在地で、本州のほぼ中央に位置し、琵琶湖国定公園の西南端にあって、京阪神、中京、及び北陸の三経済圏の“かなめ”となる位置でもあります。

市域は北端が比良山系と丹波山地の谷間にある葛川細川町であり、比良山系をまたぎ琵琶湖へと通じています。南へは伊香立を経て、比叡、長等、音羽山系の山並みを背に湖岸に沿って更に南から東へと延びます。瀬田川をはさんで東に広大な平地と更には田上山系を擁して、東側は上田上大鳥居町に達し、南端は大石小田原町に至ります。南北 45.6km 東西 20.6km、面積は 464.51km² の南北に細長い都市です。

本市の位置図を図 2-1-1 に示します。

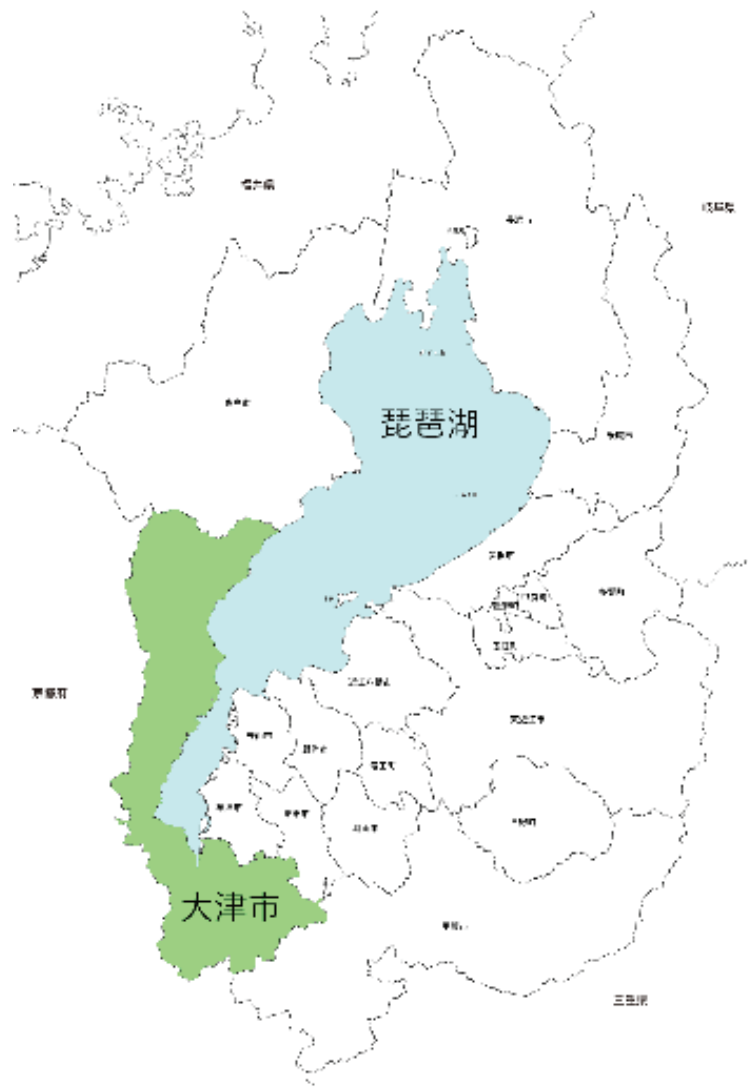


図 2-1-1 本市の位置図

第2節 社会環境

1. 人口及び世帯数の状況

平成23年度から令和2年度までの本市の人口及び世帯数の推移を表2-2-1及び図2-2-1に示します。

本市の人口は、平成27年度から平成29年度で一時減少しましたが、過去10年間では3,496人（約1％）増加しています。また、世帯数は、一貫して増加傾向が続いており、過去10年間で13,763世帯（約9.9％）増加しています。一方、世帯人員は年々減少しており、令和2年度で2.25人/世帯となっています。

表2-2-1 人口及び世帯数の推移（各年度末）

項目	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
人口	人	340,339	341,489	342,343	342,031	342,163	342,154	342,088	342,695	343,550	343,835
世帯数	世帯	138,919	139,783	141,497	142,740	144,143	145,381	146,696	148,544	150,703	152,682
世帯人員	人	2.45	2.44	2.42	2.40	2.37	2.35	2.33	2.31	2.28	2.25

※住民基本台帳人口（外国人登録人口を含む）

出典：大津市ホームページ統計情報より作成

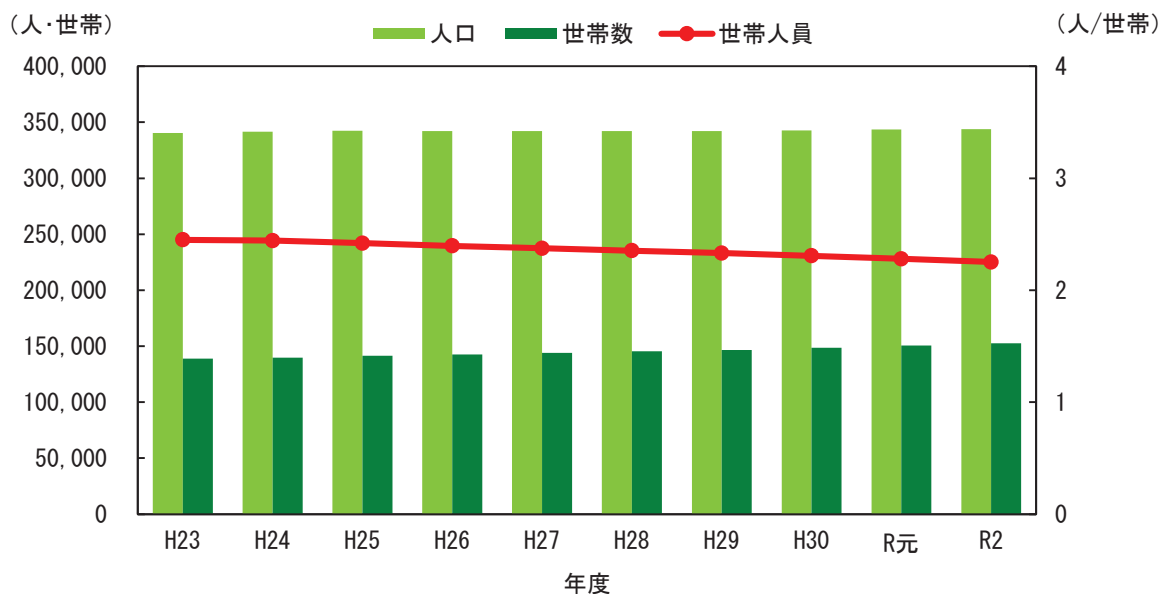


図2-2-1 人口及び世帯数の推移

令和２年度における本市の年齢別人口を表 2-2-2 及び図 2-2-2 に示します。

本市の５歳階級別人口は、男性と女性ともに 45～49 歳人口がピークとなっており、少子高齢化が進みつつある人口ピラミッドの形となっています。また、65 歳以上の人口の割合は 26.9%であり、ほかの多くの都市と同様に、本市も超高齢社会となっています。

表 2-2-2 ５歳階級別人口（令和２年度）

区分	年齢	男性		女性		割合
	(歳)	(人)		(人)		(%)
年少人口	0～ 4	7,033	23,657	6,751	22,595	13.5
	5～ 9	8,111		7,774		
	10～14	8,513		8,070		
生産年齢人口	15～19	8,684	101,327	8,320	103,727	59.6
	20～24	8,493		8,382		
	25～29	7,743		7,889		
	30～34	8,777		8,769		
	35～39	9,836		10,176		
	40～44	11,270		11,759		
	45～49	13,679		13,967		
	50～54	12,128		12,616		
	55～59	10,897		11,361		
	60～64	9,820		10,488		
老年人口	65～69	10,047	40,863	10,792	51,666	26.9
	70～74	12,253		13,719		
	75～79	8,100		9,524		
	80～84	5,556		7,544		
	85～89	3,351		5,621		
	90～94	1,272		3,278		
	95～99	256		1,023		
	100～	28		165		
総数		165,847		177,988		100.0
		343,835				

出典：大津市ホームページ統計情報より作成

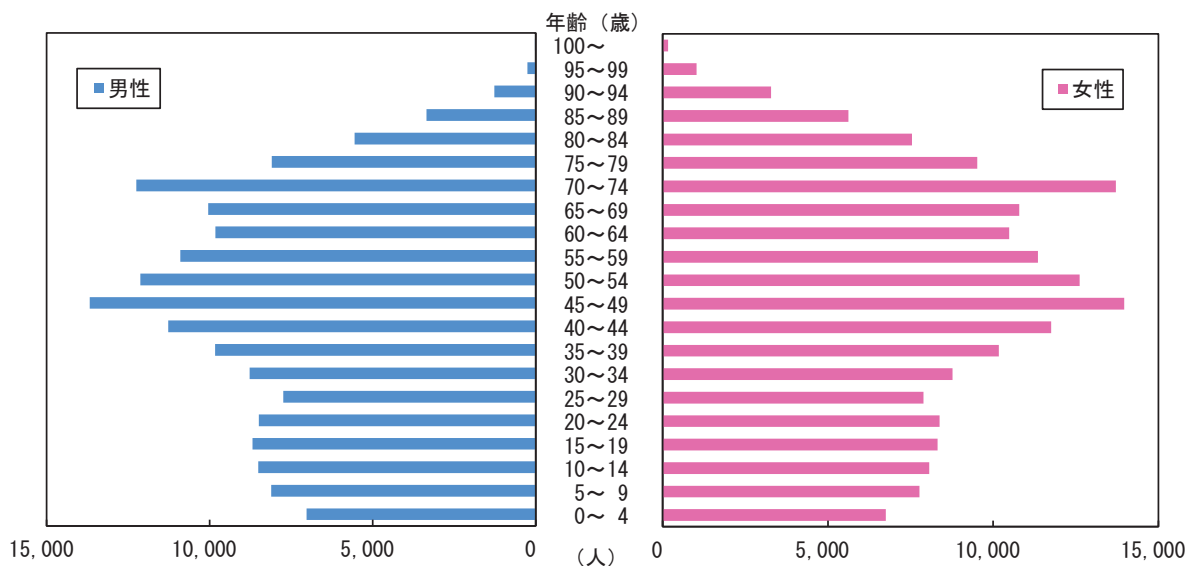


図 2-2-2 ５歳階級別人口

2. 経済、産業の状況（産業別就業者数等）

平成 28 年経済センサス活動調査による本市の業種別の事業所数及び従業者数を表 2-2-3 に示します。

本市の事業所の総数は 11,367 事業所あり、従業者の総数は 116,437 人となっています。なお、事業所数の 85.5%、従業者数の 81.8%を第三次産業が占めています。

表 2-2-3 業種別の事業所数及び従業者数（平成 28 年）

業種	事業所数		従業者数	
	（事業所）	比率（%）	（人）	比率（%）
第一次産業	24	0.2	217	0.2
農業、林業	23	0.2	209	0.2
漁業	1	0.0	8	0.0
第二次産業	1,626	14.3	20,918	18.0
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
建設業	1,035	9.1	6,430	5.5
製造業	591	5.2	14,488	12.4
第三次産業	9,717	85.5	95,302	81.8
電気・ガス・熱供給・水道業	11	0.1	324	0.3
情報通信業	127	1.1	1,785	1.5
運輸業、郵便業	181	1.6	4,927	4.2
卸売業、小売業	2,458	21.6	21,717	18.7
金融業、保険業	213	1.9	4,057	3.5
不動産業、物品賃貸業	833	7.3	3,554	3.1
学術研究、専門・技術サービス業	600	5.3	3,842	3.3
宿泊業、飲食サービス業	1,439	12.7	12,562	10.8
生活関連サービス業、娯楽業	1,044	9.2	5,701	4.9
教育、学習支援業	524	4.6	7,963	6.8
医療、福祉	1,129	9.9	19,121	16.4
複合サービス事業	70	0.6	739	0.6
サービス業（他に分類されないもの）	1,088	9.6	9,010	7.7
総数	11,367	100.0	116,437	100.0

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある

出典：総務省 平成 28 年経済センサス活動調査より作成

3. 土地利用の状況

本市の令和3年都市計画区域の指定状況を表2-2-4に示します。

都市計画区域は、葛川地区及び琵琶湖水面を除く32,910haとなっており、市街化区域は5,883ha（17.9%）、市街化調整区域は27,026ha（82.1%）となっています。

本市の令和3年用途地域の指定状況を表2-2-5に示します。

用途地域は、第1種住居地域が2,064.2ha（35.2%）と最も多く、次いで第1種中高層住居専用地域が1,282.3ha（21.9%）、第1種低層住居専用地域が785.3ha（13.4%）となっています。

本市を含む大津湖南都市計画区域を図2-2-3に示します。大津湖南都市計画の区域は、本市を含む湖南部6市（大津市（葛川地区を除く）、草津市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市の琵琶湖を除く全域）に及び、その面積は60,698haです。

表2-2-4 都市計画区域の指定状況（令和3年）

区分	面積（ha）	比率（%）
都市計画区域	32,910	100.0
市街化区域	5,883	17.9
市街化調整区域	27,026	82.1

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある

出典：都市計画のあらまし 2020 大津より作成

表2-2-5 用途地域の指定状況（令和3年）

用途地域	面積（ha）	比率（%）
第1種低層住居専用地域	785.3	13.4
第2種低層住居専用地域	21.0	0.4
第1種中高層住居専用地域	1,282.3	21.9
第2種中高層住居専用地域	127.4	2.2
第1種住居地域	2,064.2	35.2
第2種住居地域	299.9	5.1
準住居地域	14.7	0.3
近隣商業地域	208.6	3.6
商業地域	478.2	8.1
準工業地域	296.4	5.1
工業地域	287.1	4.9
工業専用地域	2.5	0.0
合計	5,867.6	100.0

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある

出典：都市計画のあらまし 2020 大津より作成



出典：滋賀県 大津湖南都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（令和 3 年 3 月）より作成

図 2-2-3 大津湖南都市計画区域